

「企業間連携機能」を追加

提携先と進捗管理が可能に

キャンノンITソリューションズは、製薬企業の安全性情報進捗管理システム「PVLINK・レポートマネージャー」に、製造委託先企業など提携先との間でも進捗管理を可能とする「企業間連携機能」を新機能として追加した。企業間での安全性情報の連絡、評価依頼を一元化するなどして業務効率化を実現し

た。新機能はユーザーの声を反映したもので、ビジネスソリューション統括本部ビジネスソリューション営業本部の山上達也氏は「システムに対する要望を毎年収集し、反映する形で機能を拡張していきたい」と同システムの方向性を示す。

キャンノンITソリューションズ

安全性情報に関する現場の課題解決に注力してきた同社。2017年に発売したMR向け副作用報告支援システム「PVLINK・カメラレポート」では、出先でスマートフォンなどデバイスで詳細調査票等を撮影し、PDFファイルとして迅速に安全管理部門に報告可能とし、FAXの誤送信や情報漏洩のリスクを防止するサービスを提案

した。翌年にリリースした安全性情報進捗管理システム「PVLINK・レポートマネージャー」では、安全性情報の報告から安全管理部門による進捗管理まで必要機能をパッケージ化。各業務プロセスに沿った標準的な機能を搭載し、個別のシステム開発にかかる時間やコストを短縮化して安全性情報管理にかかる業務の

効率化を実現した。21年には、同社が提供する「ITインフラサービス「SOLTAGE（ソルテージ）」上で、クラウド版である「PVLINK・レポートマネージャーCloud」を上市し、インフラの構築・保守・運用やソフトウェアパッケージの購入なしにレポートマネージャーの機能を使用可能とした。

一方、安全性情報に関するなど、管理が煩雑で報告漏れのリスクが存在する現状もある。そのため、同サービスの新機能として、9月から「企業間連携機能」を追加した。従来は自社の営業部門だけを情報収集ルートとしていたが、製造委託先企業など提携先との間で進捗管理を行うことが可能となった。

機能を具体的にみると、企業間での安全性情報の連絡や評価依頼を一元管理し、過去の経緯や現在の進捗状況の把握が容易になった。さらに、評価依頼や再調査依頼のメールテンプレート機能で手間を削減し、業務効率化。誤送信防止を目的として製品に基づく宛先検索機能、処理漏れや報告漏れを予防するアラート機能も備えている。

PVLINKシリーズについて、山上氏は「ユーザーと共に成長させていくもの」と位置づけており、医療機器への対応などを求める声も寄せられているとして、システム「新たな価値」の提供も視野に入れる。育業の重要性を認識する一方、実行に移せていない企業は少なくないとして、山上氏は「PVLINKを安全性情報のプラットフォームと捉えてもらい、育業の手段の一つとして検討してもらえれば」と語った。



山上氏

DXで攻めのPV業務を！
ここからはじまる本気の電子化

PV部門とMRを"つなぐ"PVLinkシリーズ



PVLink Report Manager Cloud

安全性情報管理に必要な機能を標準化し、クラウドサービスで提供

PVLink Camera Report

製薬企業のMR活動をスマートデバイスで効率化
第一報/調査票/その他帳票

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社

ビジネスソリューション営業本部 TEL 03-6701-3456
<https://www.canon-its.co.jp/solution/pharma/>

QRコードからアクセスできます

